



平成24年11月13日

各 位

会社名 神姫バス株式会社
代表者名 取締役社長 上杉雅彦
(コード9083 大証第2部)
問合せ先 企画部長 永井勝浩
(TEL : 079-223-1243)

(訂正・数値データ修正あり)

「平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成23年8月9日に発表いたしました「平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」につきまして、一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

訂正理由につきましては、本日開示の「過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場会社名 神姫バス株式会社 上場取引所 大
コード番号 9083 URL <http://www.shinkibus.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上杉 雅彦 (TEL) 079 (223) 1243
問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 永井 勝浩
四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,745	△2.4	302	△33.2	346	△30.9	117	△40.2
23年3月期第1四半期	9,990	3.8	452	53.4	501	54.1	195	47.0

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 111百万円 (217.8%) 23年3月期第1四半期 35百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	<u>3.88</u>	—
23年3月期第1四半期	<u>6.49</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	<u>44,618</u>	<u>30,372</u>	67.9
23年3月期	<u>44,660</u>	<u>30,336</u>	67.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 30,274百万円 23年3月期 30,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,200	△0.1	620	△12.9	660	△13.7	280	△44.2	9.28
通期	40,300	0.5	1,040	△4.8	1,120	△9.3	1,300	△2.0	43.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	30,860,000株	23年3月期	30,860,000株
24年3月期1Q	700,199株	23年3月期	699,997株
24年3月期1Q	30,159,868株	23年3月期1Q	30,167,242株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞や電力供給問題などにより、景気全般において先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のなかで当社グループは、「CSR（企業の社会的責任）活動の更なる推進」と「21世紀型のグループ経営」の2本柱を基本方針とし、バス事業を基盤とした新規事業の展開と営業エリアの拡大に努めております。結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比244百万円（△2.4%）減の9,745百万円、営業利益は前年同期比150百万円（△33.2%）減の302百万円、経常利益は前年同期比154百万円（△30.9%）減の346百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同期比78百万円（△40.2%）減の117百万円となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。なお、売上高、営業利益はセグメント間の内部売上高又は振替高控除前の金額であります。

① 自動車運送

乗合バス部門は、三ノ宮バスターミナルのリニューアルを行うなど利便性向上に努めましたが、震災による出控えの影響などにより前年同期に比べ減収となりました。貸切バス部門は、震災の被災地支援で東北方面へボランティアや自治体職員の輸送を行いました。東京ディズニーリゾートツアーの大幅な減少や団体旅行の延期・キャンセルなどにより大幅な減収となりました。また、タクシー部門におきましても、景気低迷により利用は減少傾向で推移いたしました。以上の結果、売上高は前年同期比177百万円（△3.4%）減の4,967百万円、営業損益は燃料費の増加も加わり営業損失38百万円（前年同期は56百万円の営業利益）となりました。

② 車両物販・整備

車両物販部門は、新車購入補助制度の終了や東日本大震災の影響による新車部材の供給停滞などにより自動車販売台数は減少しましたが、車両部品及びタイヤの販売が好調に推移したことにより前年同期並となりました。また、整備部門は、車検台数や臨時修理は増加しましたが、バスの車体塗装等が減少したことにより減収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比6百万円（△0.4%）減の1,441百万円、営業利益は7百万円（△13.8%）減の49百万円となりました。

③ 業務受託

車両運行管理部門は、前年同期並で推移いたしました。介護部門においてデイサービス及びショートステイの稼働がアップしたことにより増収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比9百万円（1.4%）増の722百万円となりましたが、営業利益は燃料費、修繕費を始めとする営業費用が増加したことにより前年同期比15百万円（△22.6%）減の54百万円となりました。

④ 不動産

販売部門は、分譲地販売区画数及び建物販売戸数が共に増加したことにより増収となりましたが、賃貸部門は、一部既存商業施設の賃貸料減額により、特販部門は、建築請負工事が減少したことにより減収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比2百万円（0.3%）増の865百万円、営業利益は前年同期比11百万円（△3.6%）減の299百万円となりました。

⑤ レジャーサービス

飲食部門は、サービスエリア事業が震災による出控えの影響を受け減収となりましたが、前連結会計年度に(株)神戸を連結子会社化したことにより、居酒屋事業の収益が寄与し、増収となりました。レンタル部門・TSUTAYAは、顧客囲い込み施策の実施や商圏を広げた営業販促を行ったことなどにより増収となりました。しかしながら、旅行部門は、震災の影響により、東京ディズニーリゾートツアーの集客が大幅に減少したことや団体旅行の延期・キャンセルが発生したことなどにより減収となりました。また、遊技場部門は、遊技者人口の減少や近隣店との競合により減収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比42百万円（△1.9%）減の2,173百万円、営業損益は前年同期比9百万円悪化（△19.8%）し、58百万円の営業損失となりました。

⑥ その他

清掃・警備部門は、前年同期並で推移いたしました。化粧品販売部門において既存サロンの来店客数が減少したことにより減収となりました。売上高は前年同期比3百万円(△1.1%)減の300百万円、営業損益は人件費の増加等により営業損失3百万円(前年同期は5百万円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ42百万円減少し、44,618百万円となりました。増減の主なものは、現金及び預金の増加850百万円、自動車運送事業における補助金未収の減少760百万円、減価償却等による有形固定資産の減少222百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ78百万円減少の14,245百万円となりました。増減の主なものは、賞与引当金の増加563百万円、定期券等の前受金の増加421百万円、未払金の減少254百万円、未払法人税等の減少649百万円、借入金の返済による減少127百万円であります。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ36百万円増加の30,372百万円となり、自己資本比率は67.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、今後の事業環境並びに原油価格の動向等が依然として不透明であることから、平成23年5月11日に公表した予想を変更しておりません。今後の事業環境や収益見通し等を見極め、業績予想の修正の必要性があれば速やかに修正を開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,108	7,958
受取手形及び売掛金	1,639	1,659
未収運賃	736	596
有価証券	110	230
商品及び製品	373	392
仕掛品	67	61
分譲土地建物	1,078	938
原材料及び貯蔵品	103	90
その他	1,608	948
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	12,815	12,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,106	22,138
減価償却累計額	△14,923	△15,051
建物及び構築物(純額)	7,183	7,086
機械装置及び工具器具備品	2,580	2,578
減価償却累計額	△2,134	△2,138
機械装置及び工具器具備品(純額)	446	440
車両運搬具	12,553	12,593
減価償却累計額	△10,645	△10,850
車両運搬具(純額)	1,907	1,742
土地	14,944	15,072
リース資産	2,549	2,549
減価償却累計額	△794	△910
リース資産(純額)	1,754	1,638
建設仮勘定	16	50
有形固定資産合計	26,253	26,031
無形固定資産		
のれん	62	59
その他	201	194
無形固定資産合計	263	253
投資その他の資産		
投資有価証券	2,910	2,870
その他	2,525	2,713
貸倒引当金	△108	△117
投資その他の資産合計	5,327	5,466
固定資産合計	31,845	31,751
資産合計	44,660	44,618

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,018	1,025
短期借入金	309	309
1年内返済予定の長期借入金	461	425
リース債務	490	490
未払金	2,427	2,173
未払法人税等	871	<u>222</u>
事故補償引当金	15	15
賞与引当金	858	1,421
過年度雑収計上旅行券引当金	13	13
その他	<u>1,801</u>	<u>2,330</u>
流動負債合計	<u>8,267</u>	<u>8,426</u>
固定負債		
長期借入金	1,362	1,271
リース債務	1,348	1,226
退職給付引当金	543	550
役員退職慰労引当金	338	103
負ののれん	6	5
その他	2,457	2,661
固定負債合計	<u>6,056</u>	<u>5,818</u>
負債合計	<u>14,324</u>	<u>14,245</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,140	3,140
資本剰余金	2,235	2,235
利益剰余金	<u>24,573</u>	<u>24,615</u>
自己株式	<u>△415</u>	<u>△415</u>
株主資本合計	<u>29,533</u>	<u>29,575</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	705	698
その他の包括利益累計額合計	<u>705</u>	<u>698</u>
少数株主持分	97	98
純資産合計	<u>30,336</u>	<u>30,372</u>
負債純資産合計	<u>44,660</u>	<u>44,618</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	9,990	9,745
売上原価	7,408	7,267
売上総利益	2,581	2,477
販売費及び一般管理費	2,129	2,175
営業利益	452	302
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	17	23
持分法による投資利益	9	3
その他	33	32
営業外収益合計	66	66
営業外費用		
支払利息	8	6
その他	8	15
営業外費用合計	17	22
経常利益	501	346
特別利益		
運行補償金	15	14
特別利益合計	15	14
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	109	—
貸倒引当金繰入額	10	3
特別損失合計	119	3
税金等調整前四半期純利益	396	357
法人税等	200	239
少数株主損益調整前四半期純利益	196	117
少数株主利益	0	0
四半期純利益	195	117

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>196</u>	<u>117</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	<u>△160</u>	<u>△6</u>
四半期包括利益	<u>35</u>	<u>111</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>35</u>	<u>110</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物 販・整備	業務受託	不動産	レジャーサ ービス	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,125	1,023	702	795	2,173	9,820	169	9,990
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	424	10	67	42	563	134	697
計	5,145	1,448	712	863	2,215	10,384	303	10,687
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	56	57	70	310	△48	446	5	452

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食料品・雑貨・化粧品等の物品販売、広告代理、清掃・警備等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	446
「その他」の区分の利益	5
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の営業利益	452

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物 販・整備	業務受託	不動産	レジャーサ ービス	計		
売上高								
外部顧客への売上高	4,948	1,020	711	758	2,138	9,576	169	9,745
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	421	11	107	35	594	130	725
計	4,967	1,441	722	865	2,173	10,171	300	10,471
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△38	49	54	299	△58	307	△3	304

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食料品・雑貨・化粧品等の物品販売、広告代理、清掃・警備、農業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>307</u>
「その他」の区分の利益	△3
セグメント間取引消去	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>302</u>

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(訂正前)



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場会社名 神姫バス株式会社 上場取引所 大
コード番号 9083 URL <http://www.shinkibus.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上杉 雅彦 (TEL) 079 (223) 1243
問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 永井 勝浩
四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,745	△2.4	298	△34.1	342	△31.7	118	△42.5
23年3月期第1四半期	9,990	3.8	452	53.4	501	54.1	205	54.6

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 112百万円 (149.0%) 23年3月期第1四半期 45百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	<u>3.92</u>	—
23年3月期第1四半期	<u>6.83</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	<u>44,680</u>	<u>30,440</u>	67.9
23年3月期	<u>44,723</u>	<u>30,403</u>	67.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 30,342百万円 23年3月期 30,305百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,200	△0.1	620	△12.9	660	△13.7	280	△45.3	9.28
通期	40,300	0.5	1,040	△4.6	1,120	△9.1	1,300	△6.7	43.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	30,860,000株	23年3月期	30,860,000株
24年3月期1Q	700,199株	23年3月期	699,997株
24年3月期1Q	30,159,868株	23年3月期1Q	30,167,242株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞や電力供給問題などにより、景気全般において先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のなかで当社グループは、「CSR（企業の社会的責任）活動の更なる推進」と「21世紀型のグループ経営」の2本柱を基本方針とし、バス事業を基盤とした新規事業の展開と営業エリアの拡大に努めております。結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比244百万円（△2.4%）減の9,745百万円、営業利益は前年同期比154百万円（△34.1%）減の298百万円、経常利益は前年同期比158百万円（△31.7%）減の342百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同期比87百万円（△42.5%）減の118百万円となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。なお、売上高、営業利益はセグメント間の内部売上高又は振替高控除前の金額であります。

① 自動車運送

乗合バス部門は、三ノ宮バスターミナルのリニューアルを行うなど利便性向上に努めましたが、震災による出控えの影響などにより前年同期に比べ減収となりました。貸切バス部門は、震災の被災地支援で東北方面へボランティアや自治体職員の輸送を行いました。東京ディズニーリゾートツアーの大幅な減少や団体旅行の延期・キャンセルなどにより大幅な減収となりました。また、タクシー部門におきましても、景気低迷により利用は減少傾向で推移いたしました。以上の結果、売上高は前年同期比177百万円（△3.4%）減の4,967百万円、営業損益は燃料費の増加も加わり営業損失38百万円（前年同期は56百万円の営業利益）となりました。

② 車両物販・整備

車両物販部門は、新車購入補助制度の終了や東日本大震災の影響による新車部材の供給停滞などにより自動車販売台数は減少しましたが、車両部品及びタイヤの販売が好調に推移したことにより前年同期並となりました。また、整備部門は、車検台数や臨時修理は増加しましたが、バスの車体塗装等が減少したことにより減収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比6百万円（△0.4%）減の1,441百万円、営業利益は7百万円（△13.8%）減の49百万円となりました。

③ 業務受託

車両運行管理部門は、前年同期並で推移いたしました。介護部門においてデイサービス及びショートステイの稼動がアップしたことにより増収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比9百万円（1.4%）増の722百万円となりましたが、営業利益は燃料費、修繕費を始めとする営業費用が増加したことにより前年同期比20百万円（△28.5%）減の50百万円となりました。

④ 不動産

販売部門は、分譲地販売区画数及び建物販売戸数が共に増加したことにより増収となりましたが、賃貸部門は、一部既存商業施設の賃貸料減額により、特販部門は、建築請負工事が減少したことにより減収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比1百万円（△0.2%）減の865百万円、営業利益は前年同期比11百万円（△3.6%）減の299百万円となりました。

⑤ レジャーサービス

飲食部門は、サービスエリア事業が震災による出控えの影響を受け減収となりましたが、前連結会計年度に(株)神戸を連結子会社化したことにより、居酒屋事業の収益が寄与し、増収となりました。レンタル部門・TSUTAYAは、顧客囲い込み施策の実施や商圏を広げた営業販促を行ったことなどにより増収となりました。しかしながら、旅行部門は、震災の影響により、東京ディズニーリゾートツアーの集客が大幅に減少したことや団体旅行の延期・キャンセルが発生したことなどにより減収となりました。また、遊技場部門は、遊技者人口の減少や近隣店との競合により減収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比42百万円（△1.9%）減の2,173百万円、営業損益は前年同期比9百万円悪化（△19.8%）し、58百万円の営業損失となりました。

⑥ その他

清掃・警備部門は、前年同期並で推移いたしました。化粧品販売部門において既存サロンの来店客数が減少したことにより減収となりました。売上高は前年同期比3百万円(△1.1%)減の300百万円、営業損益は人件費の増加等により営業損失3百万円(前年同期は5百万円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ43百万円減少し、44,680百万円となりました。増減の主なものは、現金及び預金の増加850百万円、自動車運送事業における補助金未収の減少760百万円、減価償却等による有形固定資産の減少222百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ80百万円減少の14,239百万円となりました。増減の主なものは、賞与引当金の増加563百万円、定期券等の前受金の増加421百万円、未払金の減少254百万円、未払法人税等の減少651百万円、借入金の返済による減少127百万円であります。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ37百万円増加の30,440百万円となり、自己資本比率は67.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、今後の事業環境並びに原油価格の動向等が依然として不透明であることから、平成23年5月11日に公表した予想を変更しておりません。今後の事業環境や収益見通し等を見極め、業績予想の修正の必要性があれば速やかに修正を開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,108	7,958
受取手形及び売掛金	1,639	1,659
未収運賃	736	596
有価証券	110	230
商品及び製品	373	392
仕掛品	67	61
分譲土地建物	1,078	938
原材料及び貯蔵品	103	90
その他	1,608	948
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	12,815	12,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,148	22,180
減価償却累計額	△14,923	△15,052
建物及び構築物 (純額)	7,225	7,128
機械装置及び工具器具備品	2,580	2,578
減価償却累計額	△2,134	△2,138
機械装置及び工具器具備品 (純額)	446	440
車両運搬具	12,553	12,593
減価償却累計額	△10,645	△10,850
車両運搬具 (純額)	1,907	1,742
土地	14,965	15,093
リース資産	2,549	2,549
減価償却累計額	△794	△910
リース資産 (純額)	1,754	1,638
建設仮勘定	16	50
有形固定資産合計	26,316	26,093
無形固定資産		
のれん	62	59
その他	201	194
無形固定資産合計	263	253
投資その他の資産		
投資有価証券	2,910	2,870
その他	2,458	2,642
貸倒引当金	△40	△45
投資その他の資産合計	5,327	5,466
固定資産合計	31,907	31,813
資産合計	44,723	44,680

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,018	1,025
短期借入金	309	309
1年内返済予定の長期借入金	461	425
リース債務	490	490
未払金	2,427	2,173
未払法人税等	871	219
事故補償引当金	15	15
賞与引当金	858	1,421
過年度雑収計上旅行券引当金	13	13
その他	1,798	2,326
流動負債合計	8,263	8,420
固定負債		
長期借入金	1,362	1,271
リース債務	1,348	1,226
退職給付引当金	543	550
役員退職慰労引当金	338	103
負ののれん	6	5
その他	2,457	2,661
固定負債合計	6,056	5,818
負債合計	14,319	14,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,140	3,140
資本剰余金	2,235	2,235
利益剰余金	24,640	24,683
自己株式	△415	△415
株主資本合計	29,600	29,643
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	705	698
その他の包括利益累計額合計	705	698
少数株主持分	97	98
純資産合計	30,403	30,440
負債純資産合計	44,723	44,680

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	9,990	9,745
売上原価	7,408	<u>7,272</u>
売上総利益	2,581	<u>2,473</u>
販売費及び一般管理費	2,129	2,175
営業利益	452	<u>298</u>
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	17	23
持分法による投資利益	9	3
その他	33	32
営業外収益合計	66	66
営業外費用		
支払利息	8	6
その他	8	15
営業外費用合計	17	22
経常利益	501	<u>342</u>
特別利益		
運行補償金	15	14
特別利益合計	15	14
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	109	—
特別損失合計	<u>109</u>	<u>—</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>406</u>	357
法人税等	200	<u>238</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>206</u>	<u>119</u>
少数株主利益	0	0
四半期純利益	<u>205</u>	<u>118</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	206	119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△160	△6
四半期包括利益	45	112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45	112
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物 販・整備	業務受託	不動産	レジャーサ ービス	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,125	1,023	702	795	2,173	9,820	169	9,990
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	424	10	<u>71</u>	42	<u>568</u>	134	<u>702</u>
計	5,145	1,448	712	<u>867</u>	2,215	<u>10,388</u>	303	<u>10,692</u>
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	56	57	70	310	△48	446	5	452

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食料品・雑貨・化粧品等の物品販売、広告代理、清掃・警備等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	446
「その他」の区分の利益	5
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の営業利益	452

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物 販・整備	業務受託	不動産	レジャーサ ービス	計		
売上高								
外部顧客への売上高	4,948	1,020	711	758	2,138	9,576	169	9,745
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	421	11	107	35	594	130	725
計	4,967	1,441	722	865	2,173	10,171	300	10,471
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△38	49	<u>50</u>	299	△58	<u>303</u>	△3	<u>300</u>

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食料品・雑貨・化粧品等の物品販売、広告代理、清掃・警備、農業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>303</u>
「その他」の区分の利益	△3
セグメント間取引消去	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>298</u>

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。